

# 基本目標 7

## 地域資源を生かした産業創出のまちづくり

### 【 施 策 】

#### 政策1 農林水産業の振興

- ① 農業生産基盤を整備し、農産物の低コスト化を推進する
- ② 農業における持続的な担い手を育成する
- ③ 農業における地産地消、市場開拓、ブランド化を推進する
- ④ 林業生産基盤や生産条件を整備し、担い手の育成と林業の成長産業化を図る
- ⑤ 漁業生産基盤を整備し、つくり育てる漁業を振興する
- ⑥ 漁業における市場開拓、ブランド化を推進し、担い手を育成する

#### 政策2 商工業の振興

- ⑦ 商工業の経営基盤を強化する
- ⑧ 魅力ある糸島産品をブランド化し、消費を拡大する

#### 政策3 観光の推進

- ⑨ 地域資源を生かした観光を確立する
- ⑩ 観光基盤を整備する
- ⑪ 観光情報の積極的な発信、提供を行う

#### 政策4 企業の誘致と新産業の創出

- ⑫ 九州大学関連研究所の誘致、新産業の創出、既存産業の活性化を図る
- ⑬ 製造業や流通産業などの企業を誘致し、雇用機会を拡大する

## 政策1

## 農林水産業の振興

## 施策① 農業生産基盤を整備し、農産物の低コスト化を推進する

## 課題

- 安定した農業経営のため、農業生産施設を整備し、作業の省力化、生産の効率化を進めることが必要です。
- 高齢化や担い手不足により、遊休農地（※1）や耕作放棄地が増加しているため、その対策が求められています。
- 九州大学連携研究助成事業などで、作業の省力化や新たな農産物の研究・開発などに取り組んでいますが、その活用が必要です。
- これまでの鳥獣被害対策により、イノシシによる農作物への被害は横ばい状態にあるものの、アナグマやサルによる被害が増加しており、継続的な鳥獣被害対策が必要です。
- 農業生産基盤の整備による生産効率向上のため、ほ場整備事業を実施してきましたが、未整備区域を引き続き整備することが必要です。
- 農業用施設（※2）の改修・修繕などの地域からの要望に対し、緊急性や優位性、平等性を考慮しながら、事業を実施することが必要です。

## 成果指標

| 項目                 | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|--------------------|----------------|----------------|-------|
| 担い手への農地集積率         | 51%            | 56%            | 農業振興課 |
| 九州大学との連携事業のうち活用事業数 | 1事業            | 3事業            | 農業振興課 |
| 耕作放棄地の再生利用面積       | 6ha            | 48ha           | 農業委員会 |
| 有害鳥獣による農作物の被害額     | 77,000千円       | 54,000千円       | 農林土木課 |
| ほ場整備率              | 88%            | 90%            | 農林土木課 |

|                     |       |       |       |
|---------------------|-------|-------|-------|
| 国庫補助事業を活用した地域の活動組織数 | 70 組織 | 75 組織 | 農林土木課 |
| 湛水防除施設の整備完了箇所数      | 2 か所  | 5 か所  | 農林土木課 |

## おもな取組

- 山間部の遊休農地など、農地中間管理事業などを活用し、新たな耕作者への貸付けを推進します。 **重点** **しこと**
- 耕作放棄地の解消のため、再生利用事業を進めるとともに、収益の高い作物の研究と導入に取り組みます。
- アナグマなどの小型獣対策として、わなの貸出しを実施し、被害を抑えます。
- サルの被害対策として、捕獲と生息調査を実施し、個体数の調整や地域からの追い払い活動などにより、被害防除に取り組みます。
- 鳥獣侵入防止柵（金網柵、電気柵）の設置による防護対策の促進を図るとともに、イノシシなど捕獲報奨金事業により捕獲対策の充実を図ります。
- 九州大学の研究成果の有効活用に努めます。 **重点** **九大**
- ほ場整備の未整備地域については、地域の意向などを踏まえ、県営土地改良事業の実施に向けた取組を行い、農業生産活動の負担軽減と生産効率の良い生産基盤の整備を実現します。
- 農業用施設の改修・修繕工事などは、国・県などの補助事業により実施し、農業の生産活動や施設維持管理を容易にします。
- 中山間地域等直接支払事業・多面的機能支払交付金事業を活用し、農村における農業生産活動や農業用施設の維持、自然環境・景観の保全活動を促進します。

## 市民のみなさんとの協働

- 地域で有害鳥獣の追い払いや侵入防止柵の設置を行うなど、被害防止活動に取り組みます。
- 地域組織の活動により、農業用施設の維持管理に取り組みます。
- 農地中間管理事業などにより、担い手への農地集積を進めます。

### 【用語解説】

- ※1「遊休農地」……耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供しないと見込まれる農地など。
- ※2「農業用施設」……農道、用排水路、井せき、ため池、湛水防除施設（排水機場）など。

政策1

農林水産業の振興

施策② 農業における持続的な担い手を育成する

課題

- 農家人口の減少や高齢化による担い手不足が進行しており、農業の持続的な発展を図るため、意欲ある認定農業者、農業後継者、女性農業者、新規就農者などさまざまな担い手の育成・確保が求められています。
- 本市の農業、農村を守るため、新規就農者から販売農家、認定農業者への育成が求められています。
- 有害鳥獣による農作物への被害が発生している一方で、狩猟者の高齢化や減少が進んでいるため、農業者などへの狩猟免許取得の促進や捕獲支援が求められています。

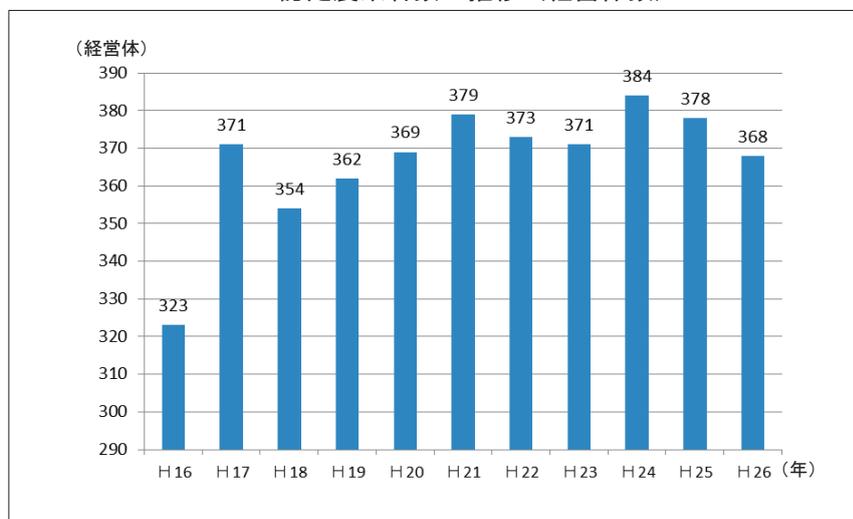
成果指標

| 項目                   | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|----------------------|----------------|----------------|-------|
| 認定農業者数<br>(経営体数)     | 368 経営体        | 380 経営体        | 農業振興課 |
| 新規就農者数<br>(平成22年度以降) | 83 人           | 150 人          | 農業振興課 |
| 糸島市在住の狩猟登録者数         | 110 人          | 140 人          | 農林土木課 |

## おもな取組

- 新規就農者のネットワークづくりを支援するとともに、周辺農家や関係機関に気軽に相談できる体制をさらに強化します。**重点** **しごと** **重点** **移住**
- 市単独事業などにより新規就農者の早期定着、新たな担い手の確保に努めます。**重点** **しごと** **重点** **移住**
- 補助事業などの活用により、認定農業者の支援、確保に努めます。
- 農業女性の会「ふた葉」への支援、家族経営協定の推進などにより女性が農業経営に参画しやすい環境づくりに努めます。
- 狩猟免許取得に関する費用の補助をするなど、新規狩猟者の確保に取り組み、有害鳥獣による農作物への被害を防ぎます。

認定農業者数の推移（経営体数）



資料：農業振興課調べ

## 市民のみなさんとの協働

- 農業研修生の受け入れ農家として積極的に協力します。

## 政策1

## 農林水産業の振興

## 施策③ 農業における地産地消、市場開拓、ブランド化を推進する

## 課題

- 市内には19か所の農林水産物直売所があり、全体として販売総額は増加しています。第1次産業従事者の所得向上を図るためにも、直売所のさらなる活性化が求められています。
- 糸島市の産地イメージと地域ブランドは、市内外の消費者に良い印象を与えています。これを地域経済の発展に結び付けるため、糸島産農産物の市場開拓、流通体系の確立の取組が必要です。

## 成果指標

| 項目                           | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|------------------------------|----------------|----------------|-------|
| 「地産地消応援団」<br>(※1) 店舗数        | 102店           | 120店           | 農業振興課 |
| 市内農水産物直売所の売上額                | 53億円/年         | 55億円/年         | 農業振興課 |
| 地産地消を意識し購入している市民の割合(市民満足度調査) | 69.5%          | 72.0%          | 農業振興課 |

## おもな取組

- 農水産物直売所の活性化に努めるとともに、6次産業化、糸島産農産物のブランド化、販路拡大に取り組みます。**重点** しごと **重点** 移住
- 広報いとしまや市ホームページ、イベントなどを活用して、糸島産農産物のPRに努め、市民の地産地消意識を高めます。
- 食品バイヤーなどときめ細やかなコミュニケーションを図り、農産物の特徴や、市場のニーズに合わせた市場開拓や流通体系の確立につなげます。また、関東圏では、東京事務所サービスの活用など、総合的・継続的な宣伝活動と販路開拓活動を展開します。**重点** しごと **重点** 移住

JA 糸島「伊都菜彩」



糸島牛



## 市民のみなさんとの協働

- 糸島市内で生産された農水産物を積極的に購入し、糸島産品の魅力を市内外に発信します。

【用語解説】

※1「地産地消応援団」……市内で採れた食材を極力使って調理をしている地産地消に協力的な飲食店など。

## 政策1 農林水産業の振興

### 施策④ 林業生産基盤や生産条件を整備し、担い手の育成と林業の成長産業化を図る

#### 課題

○林業経営の悪化、森林の荒廃化や放置竹林の増加などの悪循環によって林業生産が低迷しており、森林資源の保全・活用策の検討、森林整備に向けた林道網の整備など、林業振興の活性化が求められています。

○林業従事者が不足しており、森林保全の担い手や林業後継者の育成、労働環境の改善が求められています。

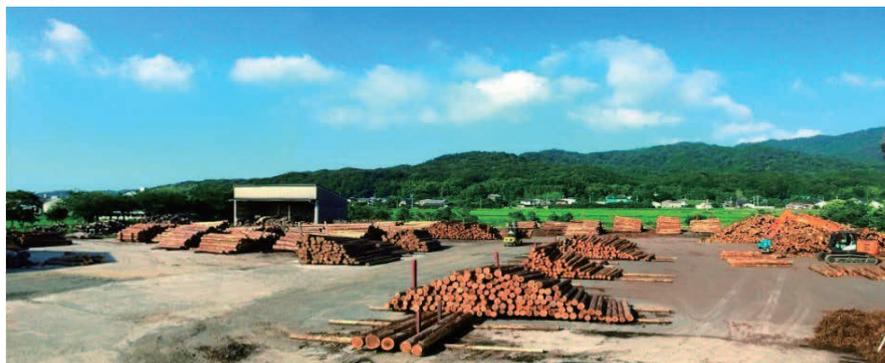
#### 成果指標

| 項目              | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 広域基幹林道(※1)の整備延長 | 47.7 km        | 50.5 km        | 農林土木課 |
| 木の駅「伊都山燦」の木材集荷量 | 2,600 t /年     | 6,000 t /年     | 農林土木課 |
| 森林経営計画認定面積      | 335ha          | 600ha          | 農林土木課 |

## おもな取組

- 森林の保全・活用について、九州大学と連携して森林・林業マスタープランなどの森林計画を策定し、林業の成長産業化に取り組めます。**重点 九大**
- 森林の保全や森林施業の省力化を図るため、森林基幹道を軸とした林道のネットワーク化の推進に努めます。
- 糸島市木の駅「伊都山燦」への間伐材などの搬出、集荷、供給体制の構築、チップ用間伐材などへの搬出補助金、市有林の計画的間伐などの糸島型森林再生プロジェクト事業を推進します。**重点 しごと** **重点 移住**
- 森林保全の担い手や林業後継者の育成及び林業従事者の所得向上に取り組めます。**重点 しごと** **重点 移住**
- 公共施設の木造化・木質化の促進など、公共事業における木材の積極的な活用に取り組めます。
- 森林や耕作放棄地への侵入竹林を抑制するため、竹林の整備と竹の有効活用を図る竹林整備促進事業を推進します。

糸島市木の駅「伊都山燦」



## 市民のみなさんとの協働

- 市民は、糸島産の木材の使用に努めます。
- 森林所有者や施業受託者は、間伐などの森林施業に取り組めます。

### 【用語解説】

※1「広域基幹林道」・・・1,000ha以上の広い森林の整備や管理をするための骨格となる林道。

## 政策1

## 農林水産業の振興

## 施策⑤ 漁業生産基盤を整備し、つくり育てる漁業を振興する

## 課題

- 漁業労働環境の悪化防止と作業負担の軽減のため、安全で安心して利用できる漁港施設や漁業生産施設の整備が求められています。
- 水産資源の適正な維持・管理の取組として、天然礁と連携した漁場の造成など、つくり育てる漁業の振興が求められています。

## 成果指標

| 項目         | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|------------|----------------|----------------|-------|
| 漁業生産基盤整備箇所 | 16か所           | 26か所           | 水産商工課 |
| 稚貝、稚魚の放流種類 | 5種類            | 7種類            | 水産商工課 |
| 食害生物の駆除個数  | 6万個            | 4万個            | 水産商工課 |

## おもな取組

- 糸島市水産振興計画に基づき、漁港・漁場施設、漁業生産基盤施設の整備に取り組みます。**重点** **しごと** **重点** **移住**
- 稚貝、稚魚の放流や食害生物の駆除、藻場造成活動に取り組みます。

基準年における放流実績

|       |       |
|-------|-------|
| 車エビ   | 50万尾  |
| ガザミ   | 25万尾  |
| ヨシエビ  | 25万尾  |
| クロアワビ | 8.5万個 |
| 赤ウニ   | 5万個   |

魚礁沈設状況



食害生物（ガンガゼ）除去



## 市民のみなさんとの協働

- 市民は、美しい海を守るため、海岸や川の清掃に努めます。
- 市民は、豊かな漁場を保つため、山林の保全に努めます。
- 漁業者は、つくり育てる漁業で、持続可能な漁業経営を目指します。

## 政策1

## 農林水産業の振興

## 施策⑥ 漁業における市場開拓、ブランド化を推進し、担い手を育成する

## 課題

- 魚価の低迷や資機材などの価格高騰により、漁業所得が減少しており、水産物のブランド化による付加価値の向上や消費拡大が必要です。
- 漁業の持続的な発展を図るため、女性の就労を含めた新たな担い手の育成が必要です。
- 魚しよく普及推進により魚離れを減少させるとともに、消費拡大や地産地消に対する意識の向上が必要です。

## 成果指標

| 項目                        | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|---------------------------|----------------|----------------|-------|
| 水産物水揚額                    | 21億4000万円/年    | 22億8000万円/年    | 水産商工課 |
| 漁業への新規就業者数                | 9人/年           | 10人/年          | 水産商工課 |
| 日頃から魚介類を食べる市民の割合（市民満足度調査） | 66.3%          | 72.0%          | 水産商工課 |
| JF認定ブランド品の数               | 10品            | 20品            | 水産商工課 |

## おもな取組

- カキ、マダイや水産物加工品などのJF認定ブランドの取組を推進します。  
重点 しごと 重点 移住
- 食品バイヤーなどときめ細やかなコミュニケーションを図り、水産物の特徴や市場ニーズに合わせた市場開拓や流通体系の確立に取り組みます。また、関東圏では、東京事務所サービスの活用など、総合的・継続的な宣伝活動と販路開拓活動を展開します。  
重点 しごと 重点 移住
- 安定的な漁業所得の確保、漁業労働環境の改善により、新たな担い手を育成します。  
重点 しごと 重点 移住
- 魚しよく普及活動を推進し、消費者が地元産の魚介類に触れ、食べる機会を増やす取組を行います。

糸島のカキ



魚しよく普及活動「さかなっ子調理教室」



JF糸島ブランドロゴマーク

## 市民のみなさんとの協働

- 市民は、糸島産の魚介類の消費拡大に努めます。
- 漁業者は、各種イベントで地域水産業の紹介や糸島産水産物を幅広くアピールし、地産地消を積極的に推進します。

## 政策2

## 商工業の振興

## 施策⑦ 商工業の経営基盤を強化する

## 課題

- 中小規模の事業者が多く、景気低迷により廃業や存続が危惧される事業所もあり、事業継続と活性化に向けての取組が求められています。
- 郊外や市外大型店舗への消費の流出などにより、市内商店街の空洞化が進んでおり、各事業者の経営基盤強化の取組が求められています。魅力ある商店街、中心市街地の再構築が急務です。

## 成果指標

| 項目                | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|-------------------|----------------|----------------|-------|
| 市内商工業事業所数の減少率     | 7.7%           | 0%             | 水産商工課 |
| 市内商工業従事者数の減少率     | 10.7%          | 0%             | 水産商工課 |
| 空き店舗の数<br>(中心市街地) | 97件            | 80件            | 水産商工課 |

注) 基準年における減少率は、平成21年から平成24年の比較である。

## おもな取組

- 商工業振興計画の「出会う・つながる・支え合う」の理念に基づき、アクションプランを実行します。
- 各種支援事業により、商工業者の経営基盤を強化するとともに、雇用の創出を促します。**重点しごと**
- 創業支援事業計画に基づき、創業希望者に対しきめ細やかな支援を行い、創業しやすい環境づくりに取り組みます。**重点しごと**

前原名店街



## 市民のみなさんとの協働

- 市民は、地産地消の促進や地場産業育成に協力し、市内商工業者を利用します。
- 事業者は、市民のニーズに合った魅力ある商品・店舗づくりに努めるなど、市内で購買が進む環境づくりを行います。

## 政策2

## 商工業の振興

## 施策⑧ 魅力ある糸島産品をブランド化し、消費を拡大する

## 課題

- 数多くのメディアで糸島産品が取り上げられるようになっており、糸島産品の効果的なPRとブランド化をさらに推進する必要があります。
- 市町村間の競争が激化する中で、良好な糸島市のブランドイメージを維持・発展させるために、地域風土と市場ニーズのマッチングを意識した事業展開が求められています。
- 市内事業者や生産者が、みずから販路開拓などの活動を展開できるよう、見本市などの機会を紹介する必要があります。

## 成果指標

| 項目                | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|-------------------|----------------|----------------|-------|
| 卸売・小売業年間商品販売額の減少率 | 11.5%          | 0%             | 水産商工課 |
| 工業製造品出荷額の減少率      | 3.3%           | 0%             | 水産商工課 |

注) 基準年における減少率は、H19年からH24年の比較である。

## おもな取組

- 食品バイヤーや消費者に糸島産品を選んでもらうため、つくり手のストーリーまで含めた「糸島」をPRします。また、関東圏では、東京事務所サービスの活用など、総合的、継続的な宣伝活動と販路開拓活動を展開します。 **重点** **しごと** **重点** **移住**
- 糸島市、福岡銀行・ふくおかフィナンシャルグループの連携協力協定による取組を活用しながら、市内事業者などに市場ニーズとのマッチングや販路開拓の支援をします。

関東圏での糸島産品PRの様子



## 市民のみなさんとの協働

- 市民は、できるだけ糸島産品を選んで購入し、その魅力を積極的に広く発信します。
- 事業者は、農商工連携や他業種連携しながら、魅力的な商品の開発とPRに努めます。

## 政策3

## 観光の推進

## 施策⑨ 地域資源を生かした観光を確立する

## 課題

- 現在の観光地としての評価を確実なものとし、地域経済の発展に結び付けるため、地域資源（自然、歴史、文化、新鮮な食材、九州大学など）を生かした「体験型観光」をさらに推進することが必要です。
- 「体験型観光」の推進のために、地域固有の魅力を観光客に伝えるエコツーリズム<sup>(※1)</sup>の推進が求められています。
- 観光入込客数の増加に加え、滞在時間の延長を図り、宿泊につなげる必要があります。
- 地域などが主体的に継続して体験型観光事業を展開できる環境を整えることが必要です。

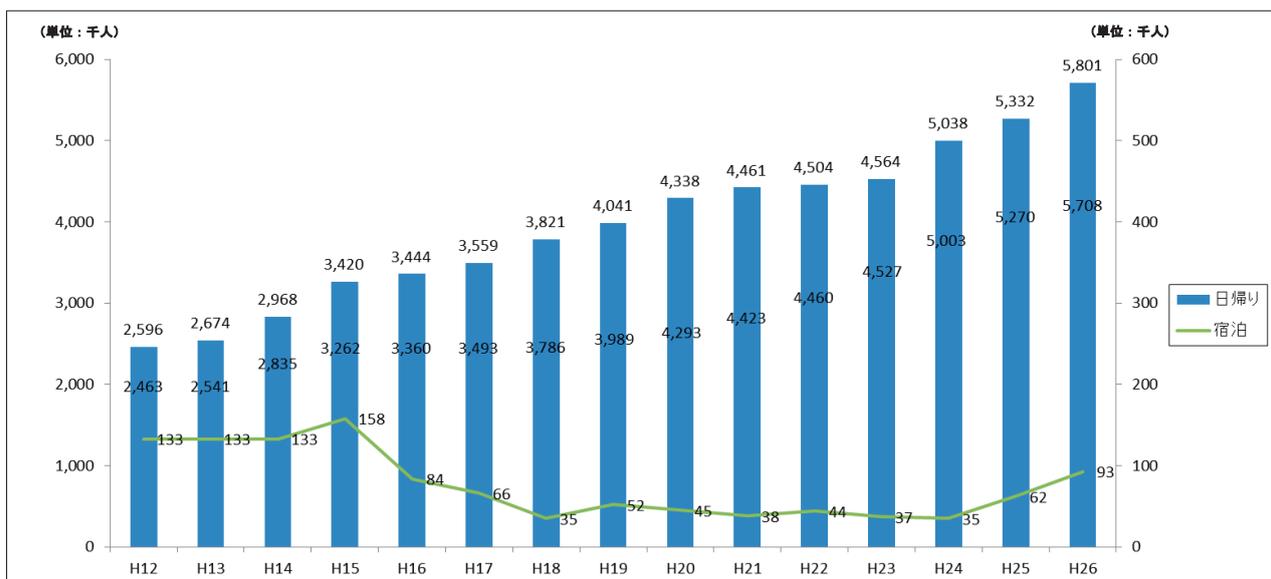
## 成果指標

| 項目         | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課      |
|------------|----------------|----------------|----------|
| 観光入込客数     | 580万人          | 660万人          | シティセールス課 |
| 宿泊観光者数     | 9.3万人          | 16.8万人         | シティセールス課 |
| 体験観光事業参加者数 | 705人           | 1,410人         | シティセールス課 |

## おもな取組

- 農山漁村体験やクラフト体験など、地域資源を最大限に生かした体験観光メニューの充実に努めます。 **重点** **しごと** **重点** **移住**
- みずから観光客を呼び込む地域や団体などを支援し、積極的にPRします。 **重点** **しごと**
- 滞在時間の延長を図り、宿泊観光の増加につながる方策を検討・実施します。  
**重点** **しごと** **重点** **移住**
- 市、観光協会、事業者、地域が連携し、一体となって観光振興に取り組む仕組みづくりを進めます。 **重点** **しごと**

観光入込客数の推移



資料：福岡県観光入込客推計調査

## 市民のみなさんとの協働

- 体験型観光メニューの造成に対して協力します。
- 地域・団体の主体的な体験型観光メニューを造成します。
- 自然環境を守ることを心掛けます。
- 歴史・文化など糸島市固有の魅力に興味を持ち、認識を深めます。

**【用語解説】**

※1「エコツーリズム」……地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値やたいせつさが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組み。

## 政策3 観光の推進

### 施策⑩ 観光基盤を整備する

#### 課題

- 本市には多くの観光スポットが存在し、年間観光入込客数は増加を続けていますが、公衆トイレの老朽化や、水洗・洋式トイレの不足など、早急な改修や整備が求められています。
- ボランティアガイドの高齢化などにより、活動の継続性が課題となっています。今後も観光客数を増加させるためには、ハード整備とともに、観光客に対するおもてなしができる人材を育成することが重要です。
- 近年、外国からの観光客が増加していますが、外国人観光客が快適に観光できる環境整備が必要です。

#### 成果指標

| 項目             | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課      |
|----------------|----------------|----------------|----------|
| 観光施設の公衆トイレの整備数 | 14か所           | 27か所           | シティセールス課 |
| 観光ボランティアガイド数   | 44人            | 88人            | シティセールス課 |

## おもな取組

- 国県事業を活用しながら、観光施設の公衆トイレの計画的な新設・改修を行い、適切な維持・管理に努めます。**重点 移住**
- 観光ボランティア育成研修を実施し、おもてなしの充実と新たなボランティアガイドの発掘・育成に取り組みます。
- 観光事業者を対象とした外国人観光客接客研修を実施します。

観光ボランティア



## 市民のみなさんとの協働

- 観光地の清掃活動などに努めます。
- 歴史・文化など糸島市固有の魅力に興味を持ち、認識を深めます。
- 観光ボランティア育成研修や外国人観光客接客研修などへ積極的に参加します。
- 観光客への丁寧なおもてなしに努めます。

## 政策3 観光の推進

### 施策⑪ 観光情報の積極的な発信、提供を行う

#### 課題

- 観光情報の発信には、インターネットやテレビ、ラジオ、新聞、雑誌など、さまざまな媒体を活用しており、今後も継続した取組を行い、糸島市のブランドイメージを維持・向上させる必要があります。
- 観光客を増やすため、国内のみならず、国外へ向けて糸島市の魅力を発信する必要があります。

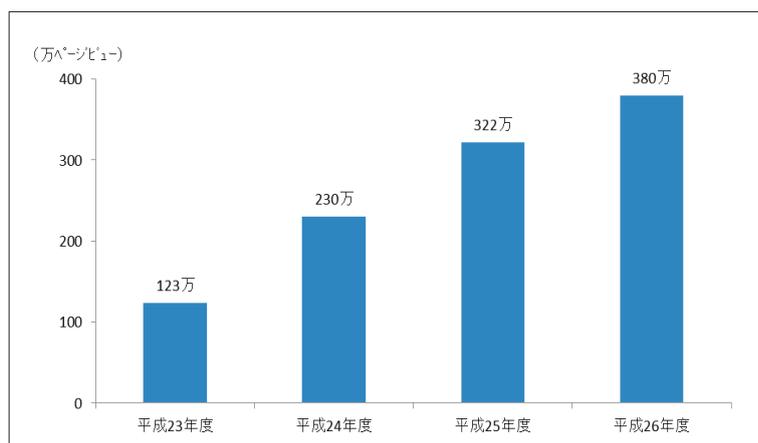
#### 成果指標

| 項目                            | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課      |
|-------------------------------|----------------|----------------|----------|
| 観光協会ホームページ<br>アクセス件数          | 380万件          | 760万件          | シティセールス課 |
| 市ホームページ内の観<br>光情報へのアクセス件<br>数 | 65万件           | 98万件           | シティセールス課 |
| いとしま国際観光大使<br>の情報発信件数         | 141回           | 840回           | シティセールス課 |

## おもな取組

- 関東圏での情報発信については、東京事務所サービスの活用など、総合的・継続的なシティセールスを展開します。**重点 移住**
- 観光協会をはじめとする関係団体と連携して、市ホームページや観光パンフレットの内容の充実を図るとともに、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など、あらゆる媒体を活用して、自然、歴史、食の豊かさなど糸島の良さを生かした新鮮な観光情報を発信し続けます。**重点 移住**
- 福岡県観光連盟や福岡地区観光協議会などとの連携を強化します。
- 糸島観光大使、いとしま国際観光大使による観光情報の発信を進めます。

観光協会ホームページアクセス件数推移



資料：糸島市観光協会調べ

いとしま国際観光大使



## 市民のみなさんとの協働

- 市民主体のイベント情報や花の開花状況など、タイムリーな情報提供に努めます。
- SNS などにより、糸島市の魅力を積極的に発信します。

## 政策4

## 企業の誘致と新産業の創出

## 施策⑫ 九州大学関連研究所の誘致、新産業の創出、既存産業の活性化を図る

## 課題

- 糸島リサーチパークや九州大学南口泊研究団地において、企業訪問活動などにより一定の成果は見られたものの、今後さらなる誘致の取組強化が求められています。
- 九州大学では、次世代エネルギーとして注目されている水素をはじめ、有機EL<sup>(※1)</sup>、半導体などの最先端の研究が展開されていますが、九州大学のシーズ<sup>(※2)</sup>を生かした民間の研究機関などの集積を進める必要があります。

## 成果指標

| 項目                      | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|-------------------------|----------------|----------------|-------|
| 企業誘致件数（九大関連）（累計）        | 0社             | 2社             | 水産商工課 |
| 研究機関の立地数<br>（累計）        | 4機関<br>（増設含む）  | 5機関            | 水産商工課 |
| 企業誘致の従業員数<br>（九大関連）（累計） | 0人             | 200人           | 水産商工課 |

## おもな取組

- 九州大学、福岡県、九州大学学術研究都市推進機構などと連携し、積極的な情報収集と情報発信を行い、糸島リサーチパークなどへ研究機関、量産施設の誘致と新産業の創出につなげます。 **重点 九大** **重点 しごと**
- 水素エネルギー製品研究試験センター、三次元半導体研究センター、社会システム実証センターに対する支援（ベンチャー育成事業など）を行い、市内への関連企業、研究所などの立地を誘導します。 **重点 しごと**
- 糸島の農林水産物を活用する企業を組織化し、農商工連携による新商品の開発など、相乗効果を図り、市全域の産業の活性化につなげます。 **重点 しごと**

水素エネルギー製品研究試験センター（HyTReC）



## 市民のみなさんとの協働

- 企業などが地域に溶け込めるよう、企業、研究機関との共存共栄に努めます。

### 【用語解説】

※1「有機EL」……有機発光ダイオードや発光ポリマーなど、有機材料を電気力で発光させたもの。

※2「シーズ」……技術、ノウハウ、アイデア、人材、設備、サービスなど。

## 政策4

## 企業の誘致と新産業の創出

### 施策⑬ 製造業や流通産業などの企業を誘致し、雇用機会を拡大する

#### 課題

- 市内における雇用の場の確保が十分とは言えないため、継続した企業誘致活動が必要です。
- 企業誘致の受け皿として、新たに産業団地の造成事業に着手することが必要です。
- 「職・住・余暇」が近接する新たな働き方を研究し、雇用機会の拡大を図ることが必要です。

#### 成果指標

| 項目                            | 基準<br>(平成26年度) | 目標<br>(平成32年度) | 担当課   |
|-------------------------------|----------------|----------------|-------|
| 企業誘致件数（九大<br>関連以外）（累計）        | 6社             | 10社            | 水産商工課 |
| 産業団地の整備数<br>（累計）              | 5か所            | 6か所            | 水産商工課 |
| 企業誘致の従業員数<br>（九大関連以外）<br>（累計） | 686人           | 1,000人         | 水産商工課 |

## おもな取組

- 綿密な情報収集、企業へのアンケート調査、現地説明会の実施、企業訪問を行い、継続して企業誘致に取り組みます。
- 新たな産業団地の造成に向けて、都市計画地区計画の策定、農工計画の策定、下水道の認可区域の変更などに早期に取り組みます。**重点しごと**
- 市民の雇用の創出を図るため、市外からの企業の誘致と市内商工業の求人情報の情報発信を行います。
- 糸島の農林水産物を活用する食品関連企業、研究機関の集積に継続して取り組みます。**重点しごと**
- 産学官で連携してテレワーク（※1）を推進し、幅広い雇用機会を創出します。

**重点しごと** **重点移住**

糸島リサーチパーク



## 市民のみなさんとの協働

- 企業などが地域に溶け込めるよう、企業との共存共栄に努めます。
- 企業立地動向などに関する情報を市へ提供します。

### 【用語解説】

※1「テレワーク」……情報通信技術(ICT=Information and Communication Technology)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

